



# センター交代。

「ええっ、産まれる気がする？」

タクシー呼んだところ？ほんとよ？

マジかあ、よりによってこんなときに……

そのとき、僕もタクシーを走らせていた。

ただし、出張先の大阪で。

「……とにかく終わったら

大急ぎで帰るから……うん、がんばって」

立ち会ったつもりで予定日後はスケジュール

を空けてあったが、一週間も早いとは……

「え、お子さんが産まれそう!?なら、今すぐ

行ったほうがいいわよ」「そうですよ、

後は任せてください」「まだ間に合うわよ、

あたしなんて10時間かかったんだから」

「二生、奥さんに恨まれますよ」

その後、月例報告もそこそこに、僕は

会議室を飛び出した。

〈陣痛キタ〉

妻のメールに、打ち合わせ中にもかかわらず、思わず声が出てしまったのだ。

「じゃあ、すみませんが……」

ビジネスにプライベートな事情を持ち込む

のはばかられたが、人生最大の出来事

と、チームの皆やクライアントの皆さんの

ご好意に甘えさせてもらうことにした。

タクシーを捕まえて駅まで15分、新幹線が

2時間半……と信号を渡りかけたそのとき。

「先輩、忘れ物、忘れ物……」

よっぽど動転していたのだろう。スーツの

上着を忘れてしまっていた。

もう産まれちゃったかな……でも、なら

連絡くるか……いや、産後にメールなんて

無理か……さっきから1時間、さすがに

まだか……安産ならいいけど……でも

難産のほうが間に合う可能性は……いや、

とにかく元気に産まれてきますように……

あ！てか、名前まだだ！まだ一週間ある

と思っただもんなあ……

あの日、地に足つかない心境で過ごした

新幹線の数時間を、みんなに温かく送り

出されながら飛び出した会議室の光景を、

きっと一生忘れないだろう。

息子、湊馬。現在、6ヶ月。

昨夜初めて寝返りをうった。

生き方を、包む。

# D'URBAN

www.durban.jp

アザーストーリーもWEBで公開中。 [生き方を包む](#)